



学友会130周年によせて

学友会会長 大橋 良一(78回生)



こんにちは。学友会会長の大橋良一です。不動岡高校学友会会員の皆さん、元気で活躍のこととお喜び申し上げます。

わが母校不動岡高校は、本年開校130年という節目の年を迎えました。当学友会として、ささやかながら記念事業の実施を企画し、その旨を皆さんにお知らせし、多くの方の賛同をいただいたところであります。記念品は届いたでしょうか。ところで、皆さんは、「母校」という言葉に何を思いますか。何も感じない方、思い入れのある方、様々だと思います。また、皆さんの中には、卒業以来母校を訪れたことがない方も大勢おられるのではないのでしょうか。私も若い頃はまったくありませんでした。仕事や子育てなど、毎日の生活に追われ、それどころではないのが実状だと思います。しかし、少し年を重ね、いろいろな意味で余裕ができてくると、過去を振り返る時間も出てきます。その中には、高校や大学時代、いわゆる青春の一時期を思い出すこともあると思います。三階建ての学校校舎らしい校舎、ポプ

ラ並木、木造の武道場等々、現在はまったく様変わりしています。いわゆる古いものは残っておりません。強いて挙げれば体育館でしょうか。

訪れてビックリ、見てビックリです。大階段と吹き抜けが目を引きホームルーム棟や、学校図書館であるメディアセンターなど、平成19年までに全面建替された超近代的な施設で、ゆるがざる不動の伝統「質実剛健」「文武両道」「不撓不屈」の精神を受け継いだ後輩たちが、「明日の世界を創造する品格あるリーダー」となるべくお互いに切磋琢磨しています。ぜひ訪れてください。学友会(事務局)は不在の時が多いかもしれませんが、学校も歓迎します。そして、皆さん一人ひとりの再スタートの時間にしていただければ幸いです。

教育改革と不動岡高校の目指すものについて

校長 武正 章(89回生)



本年度、校長として着任させていただきました。武正でございます。私自身も、本校

89回卒業生であり、教員としても11年間奉職させていただきました。生徒としての3年間、教員としての11年間と比べ、

発行所
埼玉県立不動岡
高等学校学友会
加須市不動岡
1-7-45
電話 0480(61)0140

学友の集いにご参加ください (学友会総会)

恒例の学友の集いを下記のとおり開催いたします。創立130年を迎えた母校をご自身の目でご覧いただき、旧交を温めていただければ幸いです。本年度も学友会特別企画として古希をむかえる学友の皆様(77回生)をご招待いたします。皆様お誘い合わせの上げにご参加下さい。

日時 平成28年11月13日(日)
12:00 受付 13:00 応援部演技
13:30 開会
会場 埼玉県立不動岡高等学校
不動岡ホール

総会議事 ①会務・会計報告 ②事業予定及び予算
③慶祝者表彰 ④その他

本校OBによるガラコンサート
懇親会 午後3時30分より 不動岡百周年記念館にて
懇親会費 3,000円(当日受付でいただきます)
*古希の皆様はご招待

お問い合わせは ☎0480-61-0140まで

べて学校から社会への移行をスムーズに行い、現在そして未来の社会で求められる人材を輩出することが、教育の責務であると再認識させるものであります。すでに経済産業省は平成18年に次のような「社会人基礎力」を例示しておりますが、これがまさに今般の教育改革の目指すものであり、学校が生徒に身に付けさせる資質であると思われれます。「前に踏み出す力(アクション)」「主体性・働きかけ力・実行力」「考え抜く力(シンキング)」「課題発見力・計画力・創造力」「チームで働く力(チームワーク)」「発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力」これらはまさに本校建学の精神である「明朗質素」「質実剛健」「文武両道」「進取の気風」「不撓不屈の精神」に結びつくと思われれます。創立130周年を機に、もう一度建学の精神をふまえて、「明日の世界を創造する品格あるリーダーの育成」に努めてまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

平成28年度 慶祝者名一覽 (敬称略)

- 67回生 鴨野 幸雄 瑞宝中級章(金沢大学名誉教授)
 - 68回生 斎藤 誠治 瑞宝双光章
 - 74回生 早川 忠男 瑞宝単光章
 - 74回生 金子 賢治 瑞宝双光章
 - 75回生 櫻井 孝美 画家
 - 76回生 鹿見島金衛 瑞宝双光章
 - 88回生 岡 伸一 明治学院大学教授
 - 89回生 宮地 弘幸 東京大学創薬機構特任教授
 - 89回生 小野田 榮 順天堂大学教授
 - 91回生 江原 光一 加須大越小学校長
 - 92回生 落合 統一 久喜青毛小学校長
 - 92回生 青木 正 杉戸西小学校長
 - 93回生 矢島 正俊 久喜江面第二小学校長
 - 96回生 堀越 成夫 羽生新郷第二小学校長
 - 96回生 藤間 昌子 久喜鷲宮東中学校長
 - 108回生 羽鳥 真功 博士号取得
- ※昨年、推薦があり表彰させていただきました。紙面で紹介させて頂きます。
※本年度の表彰にむけてのご連絡をお待ちしております。

学友会表彰について

昨年度の総会において学友会の表彰は、自薦または他薦にてご連絡を頂いた方と決定されました。表彰規程は次の様になります。該当又は、推薦される方は学校に、ご連絡をお願いいたします。

- 1 県市町村の首長、国会・県会議員に選出された者
- 2 学位を受けた者
- 3 国の褒章を受けた者
- 4 国またはこれに準ずる団体や県等の賞状を受賞し功績が顕著な者
- 5 学術文化上特に功績が顕著であり会長が認めた者
- 6 県内公立学校校長、県職副部長・部長等に補せられた者
- 7 本校に13年以上勤続された教職員
- 8 本会会務の運営に多大の貢献をした者
- 9 前各号以外で特に会長が慶祝表彰に値すると認めた者

※特に企業において活躍されている方も、ご推薦下さい。

学友会NEWS

130周年記念事業について

昨年の学友会だよりでお知らせし、寄付をお願いいたしました「学友会独自の記念事業としての記念品制作」事業ですが、おかげさまで多くの学友の皆様より寄付をお寄せいただきました。平成28年7月末日現在、6団体、1908件合計11,287,527円となりました。紙面をお借りして皆様に厚く御礼を申し上げます。実は未だ多くの皆様より「寄付はまだ受け付けていますか?」というお問い合わせをいただき、ありがたく受付けていただいております。皆様の母校を思う気持ちに130年の歴史を感じました。重ねて御礼申し上げます。

記念品は、在校生1096人、本年、130周年の年に卒業していった生徒364人、そして教職員すべてに配布し、現在OB、OGの皆様へ送付の段取りを取っております。当初、7月には皆様のお手元にお届けする予定でございましたが、学校側の記念誌発行事業の遅れにより、発送が遅れましたことをお詫び申し上げます。発送につきましては業者に委託し、8月末以降出来上がり次第順次お送りすることになっております。「ご友人に届いてもご自身に届かない。」という事態も発生するかと思います。ひと月ほどの猶予をお願いしたく思っております。また、万が一、10月上旬を過ぎてもお手元に届かない場合には、遠慮なく学友会事務局にご連絡をお願いいたします。その際には、お名前、ご住所、ご連絡先をお伝えください。早急にお調べして状況をお知らせいたします。

今回たくさんの方の寄付金を頂戴いたしましたので、記念品制作費用を賄い、まだ余剰が出ると思われます。総会では、寄付金の新たな使い道に關しても話し合われることになると思います。是非、本年の学友会総会に出席し、議事を確認し、旧交を温める場としていただきたと思っています。

お問い合わせ先…学友会事務局 (04800610140) 担当…赤坂 ※不在の場合には伝言をお願いいたします。

創立130周年記念 学友会特別講演会

日時 平成29年1月21日(土) 午後3時30分から (講演時間約60分)
会場 不動岡高等学校 不動岡ホール
講師 関根 郁夫 氏
・演題 「学びの改革」

130周年に寄せて

不動岡高と騎西町で 育まれたことに感謝

67回生 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 埼玉県の旧制中学では最古の歴史を刻む不動岡高が創立130年を迎えるのは、誠におめでたいことです。この時にあたり、昨年の秋の叙勲に浴したことを、同期の友人松村敏孝君が学友会に連絡されたのを機に、「何かを書け」との要請がありました。あまたの卒業生がおりる中で私ごとき者が書くのは僭越なので遠慮申しましたが、強い要請もあり書くことをお許し下さい。

たのは翌年だったと思います。教えていただいた先生には、本名よりは愛称(数学の(小池)タンちゃん、数学の(富田)仁王さん、古文の(金子)金ちゃん等の各先生)で呼ばれる名物先生方が多く、とくにタンちゃん先生には、数学授業の教壇で痛めつけられましたが、すべてなつかしい思い出になっております。

その中で、川辺先生(愛称マント先生)には英語を3年間教わりました。同じ騎西町内からいつもひどい埃の立つ砂利道を自転車を通われ、真面目という看板を下げているような方でした。家庭でも買い物、料理等で奥様を手助けされた現代の男女共同参画を先取りされているような方でした。

ここで私事を述べて恐縮ですが、母は私を出産したことで結核が悪化し、当時の事でもあり人目をはばかりながら25年間病床に伏しておりました。持病のある父は私が高2の7月に亡くなり、次男の兄と私は今日の介護士よろしくすべての介護、家事、家の付き合い等を受け持たざるをえませんでした。少年時代は同級生と趣味やスポーツ等で交流することが殆んどできず今日でも残念に思っております。しかし、このことが、成人して他人の痛みや苦しみを理解できる原動力になったと信じておりますので、これを不幸な境遇と思つたことは一度もありません。

そのような家事手伝いの買い物先などで川辺先生とはよくお会いし言葉をかけていただきました。その実直な先生が授業で英語の諺を詳しく解説され、その中で「社会に少しでも貢献したいなら、目標を実現すべきあきらめない心を生涯にわたり持続しなさい」という諺の趣旨を実感を込めて話されたのを覚えております。

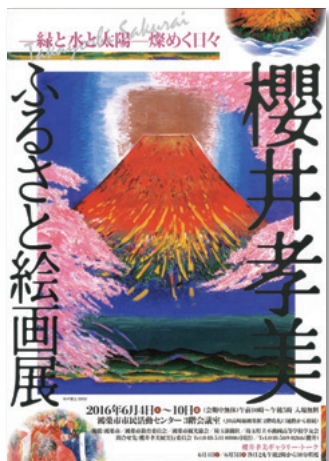
大学の法科に在学中、ある事件を契機に、社会的に弱い立場の人たちの権利保障「人権保障」を今日まで私のテーマとしたことも、川辺先生の右の話が意識の底にあつたのだと思います。イタイイタイ病事件、小松空港騒音訴訟等では、被害者に寄り添う理論と実務の連携をはかり相当の成果をあげることができました。

それにも増して、大学で40年以上にわたり講義してきた人権保障の理論をゼミナール等で学んだ学生たちが、今日、全国で行政官、弁護士等の法曹、学者、企業人等として活躍し、また留学生たちがアジアやアメリカで同じく活躍している様子を見聞するにつけ、本当に嬉しく幸せに感じます。その意味では、不動岡高の教育と騎西町(今は加須市)の人々(家族・友人・住民)に育てていただいたことに感謝申し上げます。

末筆ながら不動岡高等学校の益々の発展をお祈り申し上げます。

緑と水と太陽―燦めく日々 櫻井孝美ふるさと絵画展

75回生 櫻井 孝美



富士山の北麓富士吉田市に住居を移して以来故郷に一週間も滞在することは初めてのことだった。中山道の街並と一面に広がる水田、遙か遠くに見える榛名山、赤城山、筑波山と広い空、そし

て懐かしい人々は50年の歳月を忘れさせすつかり鴻巣市民になっていた。それは恵まれた縁で開催された「ふるさと絵画展」のおかげであった。

昨年4月、地域の名士田沼将利様の発案、呼びかけで実行委員会主催の展覧会が企画された。当初は同年12月開催としたが、半年延ばすことで大作による自選展が可能な広いスペースを利用できるため本年6月4日から10日までの期間とした。委員長の田沼様は漸次準備をすすめる、鴻巣市や埼玉新聞社そして母校の不動岡高等学校学友会等の後援協力を得た。一万部のパンフレットの配布は観光協会のボランティアの方々にも依頼し近隣の市にも配布された。埼玉新聞と埼玉中央よみうりの両紙が積極的に取り上げてくれた。おかげで期間中約二千人が会場を訪れた。中にはこのような展覧会を見るのは初めてと言う人も居た。「楽しい」「元気が出る」との感想を多くの方が私に直接話してくれ大変嬉しいことだった。

6月9日には昨年ノーベル生理学医学賞を受賞された大村智先生にご来場いただいた。会場では数百人の来場者の中で「楽しいねえ」「ごいねえ」と述べられながらご覧下さった。

その後食事会に招いていただいた時の「今日は楽しかった」「故郷に錦を飾ったね」のお言葉に、ご多忙なスケジュール縫いご来場下さった先生のお心を感じ改めて深く感謝致した。当初の通り12月開催であったならば大村先生はノーベル賞の授賞式でご来場いただけたことは言うまでもなく有り得なかつた。そして先生の偉大なオーラを直に求めて多くの人が会場に集まることもなかつた。

この恵まれた展覧会で故郷の有難い空気の中にどっぷり浸かった一週間だった。今回の多くのご縁と大村先生の「恕」のお心を胸に刻み富士山の麓で絵を描いていく。

不動岡高校の思い出

128回生 牧野 恵美

不動岡高校で楽しかったことは沢山ありましたが、一番の思い出は1年の体育祭・文化祭です。まだ入学して2ヶ月も経たなく、あまりお互いを知らなかったクラスメートたちと一つの目標に向かって活動したことはとても良い思い出です。特に私の所属していた外国語学科は1年の文化祭は劇の上演が風習となっていたため、文化祭期間では格技場の合宿所で準備をしました。私たちのクラスはAlice in Wonderlandという不思議の国のアリスのオリジナル版をやりました。

校舎から離れ、クラスメートたちと劇の準備をした時間はお互いを知ることができましたし、その後のクラスの雰囲気もそこで確立されたような気がします。大学に入ってから友達と高校の時の話をすると毎回驚かされます。私立高校出身の人たちは体育祭・文化祭があまり盛大に行われなかったり、また行事に参加できていなかったりした人が多かったり、県立高校出身の人でも不動岡高校ほど体



育祭・文化祭が盛り上がったという人は少ないです。不動岡にいた時には当たり前だと思っていた行事がとても貴重なことだということを感じています。実際自分が通っている時は意識していませんでしたが、不動岡の一つ一つの行事を楽しむのも不動岡の魅力の一つだと思います。また、私は外国語科に所属していたので在学中一番熱心に取り組んだのは語学の勉強です。外国語科では2年生から第2言語を勉強することになっていましたので私はフランス語を選択しました。毎回の授業に日本人の先生が1人、フランス人の先生が一人か二人ついて授業をして下さり、ネイティブの発音を聞きながらフランス語を勉強しました。私は今大学でも第2言語としてフランス語を勉強しておりますが先生は日本人です。しかし高校で耳を鍛えることができたからこそ、フランス語の発音を自分では理解することができているつもりです。

とより、優秀な後輩を育てるために、育英会制度を設けてはどうかという要望があった。それと呼応したかのように、久喜市の株式会社三高の高澤三太郎社長から、「子供が二人不動岡高校にお世話になったので、創立百周年の記念に役立つことがあれば」というお話を頂戴した。そして、昭和五十九年八月三日に、三高サロンを会場とした「畑和知事四選祝賀会」において、高澤氏から育英会資金の寄付の申し出が正式にあった。その後、学校は県の指導を受け、財団法人高澤育英会を昭和六十年に設立し、高澤氏から故畑学友会長に五千万円が贈られた。

高校時代、私は不動岡に対して不満を覚える事も有りました。しかし大学生になり、改めて自分の高校時代の経験を思い返してみると、沢山の貴重な経験をさせていただいたと感謝の気持ちでいっぱいになります。また私事ではございますが、私の祖父も不動岡高校出身です。これは不動岡が130年という長い歴史を積み重ねているからこそ起り得た事であると思います。今後さらに不動岡の歴史が刻まれますことを心より祈っています。

高澤育英会について

高澤育英会は、創立百周年を控えた昭和五十八年の学友会総会において、「記念事業として施設設備の充実はも

高澤育英会は、法改正による一般財団法人化を経て、現在は一般財団法人高澤育英会として、事務局を不動岡高等学校事務室に置き、運営されている。設立から本年度までに、総勢二六七名の生徒及び学生に奨学金を給付し、設立当初の奨学生はすでに地域社会の中心として活躍していると聞いている。これは、まさに高澤氏の御篤志が結実したものである。

不動岡市民大学について

(文責：武正 章 89回生)

不動岡市民大学は、平成18年に不動岡高校創立120周年記念事業の一環として始められました。本校を北埼玉地域における文化の拠点として一般市民の皆様へ開放し、地域に貢献できる高校として親しんで頂くという考えのもとに企画されました。以来10年間、文学・科学・歴史・語学・美術・化学・法律等々各分野の講座を開講し、市民の皆様に関心を持って分り易く、親しみ易く解説し、生活に潤いをもたらす知識を学び身に付ける為の大人の講座として活用して頂けるよう努めて参りました。これからも、市民の皆様が興味ある講座を開設し、文化の香りをお届けする「お香」のような存在としてあり続けたいと思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

不動岡市民大学事務局長 船川喜正(86回生)

不動岡高校卒業生によるガラコンサートとその現状

現在「第7回不動岡高校卒業生によるガラコンサート」(10月30日午後1時半開演パストラルカぞ小ホール)の開催準備が着々と進んでいます。多くの不動岡高校の学友会の皆様は、このコンサートをまだご存じでないかもしれません。平成22年より毎年1回、不動岡高等学校の開校記念日前後の日曜日に「不動岡高校卒業生によるガラコンサート」を開催しております。第二回は、今は亡き新井規夫氏、第二回は、新井陽吉氏を發起人として、このコンサートを挙げてまいりました。この二回の自主的開催の結果①不動岡高校卒業生の学年を隔てた交流や後進育成の場として成り立つ事②学友会や地元の文化的交流に貢献できる事③音楽に限らず、美術界の卒業生の活躍も紹介できる事等を実感致しました。しかし、發起人の負担が大きく、このような素晴らしいコンサートを継続させられる具体的な組織は全くありませんでした。

そこで、第三回目平成24年11月11日(日)開催決定を機に、「不動岡高校」の冠を頂く以上、目的内容をしっかり掲げ、ガラコンサートの安定継続と地域の文化的交流に寄与出来る組織的基盤が必要との結論を得まして、有志が会議を重ね、ガラコンサート実行委員会を平成24



年4月より発足させる運びとなりました。学友会や町おこしに繋がる事業のため、歴代の不動岡高等学校長、加須市長、教育長、地元の議員や名士の方などに顧問の就任を頂きました。当実行委員会趣旨、意義、可能性を深くご理解して頂き、前向きな事業活動の協力やご意見を頂いております。その結果、4年前より学友会との相互協力を開始し、3年前より学友会総会でアトラクションコンサートを実施しております。

本年11月13日(日)の総会に於いても「トリオGALA」3名によるカンツォーネのミニコンサートを予定しております。どうぞ皆様奮って本年度の学友会総会に足をお運びください。

不動岡高校卒業生によるガラコンサート
実行委員会会長 田中利幸(87回生)

古希祝のご案内

77回生の皆様へ

11月13日に行われる学友会総会・懇親会に、古希を迎えられる77回生の皆様をご招待いたします。(開催の詳細は1ページ目左をご覧ください。)

現在の不動岡高校をご覧いただき、級友や先輩、後輩との話に花を咲かせていただければと思います。

77回生の方

- 昭和40年(1965)3月卒業
生年月日(参考)
- 昭和21年4月2日
- 昭和22年4月1日
- 懇親会費は無料です。
- 古希の皆様に向けたイベントを用意しております。

申込方法

同封の返信はがきの回生欄に77回生とお書きいただくだけで結構です。多くの皆様のご参加お待ちしております。

古希招待に寄せて

77回生 斎藤美津子

図らずも、学友会事務局より原稿依頼がありましたので、高校時代の思い出やその後のことなどをお伝えしたいと思います。

私達77回生は戦後生まれで一学年9クラス(男6・女3)の一クラス約56名構成。机と椅子が合体していたので教室は身動きの出来ない状態でした。又、冬になると皆の体温でストーブいらずの教室になったものです。

学校行事の中で秩父高校との交歓会が一大イベント。手をとりあつて踊ったフォークダンスが強く印象に残っています。又、体育祭では恒例の仮装行列が繰り広げられ、観客も含め興奮さめやらぬ状態でした。さらに、日本で初めて開催された東京オリンピックは平和の象徴で、10月10日の青空は眩に焼きついています。

時は過ぎ、平成7年から18年までの12年間母校の養護教諭として勤務しました。在職中生徒を引率しての中国(内モンゴル・北京)への海外研修を平成12年・14年・16年の三回経験し、参加者の遅しさや臨機応変な行動に助けられ、多くの成果と良い思い出が生まれました。

さらに、オーストラリア研修(キングガロイ高校)にも引率の機会をいただきました。広大な大陸を目の当たりにし、ホームパーティーからの帰り道猛スピードでワラビーと車で競争するということもあり、ハ

ララドキドキ。懐かしい思い出です。

平成17年には120周年の記念事業で立派な校舎が完成。見違える程の近代化で言葉もない位です。母校が時代のニーズに逸早く対応し、地域の「核」になつていくことを実感する日々でした。

退職後は再任用と教育相談員・全国養護教諭連絡協議会の事務局長などにそれぞれ2年ずつ携わり、現在は養護教諭養成大学でもある女子栄養大学で、非常勤講師として勤務しています。

77回生 岡田 道夫

庭先の半夏生が、梅雨空を明るくしてくれる季節、不動岡高校学友会より原稿依頼を受けました。古希のお祝いを兼ね、学友会を魅力あるものにする為、今年も(2年目)77回生を総会にご招待していただくことになりました。私は連絡後、懐かしく母校を思い出しながら、卒業アルバムを久しぶりに開いたところ、ケースはボロボロ、写真は色あせて、時の経過を目の当りにしました。アルバムの中に松井校長から「時がたてばたつほど値打ちができ、貴重なものとなる——人間も50年代になると、社会的地位も一応固定し若かりし頃いただいた野望も夢も解消して過去の人生行路を回顧したくなる。その思い出や回顧の最良の資料が卒業アルバムである」との言葉が書かれてありました。私も振り返ってみると、文化祭、3年時の体育祭、秩父高校との交歓会(フォークダンス)等が目前に浮かんで来ました。私は中学校の理科

教員となつて全力で「一期一会」を大切に38年間勤めました。その中で、韓国の釜山日本入学校で3年間教員として勤務し、異文化教育の大切さと世界の大きさを伝える教育を実践してきました。母校の騎西中を最後に定年退職後は、ご縁があり騎西町の教育長を務め、その後市町村合併により職を離れました。

第二の人生のスタート、小さい頃から絵を描くことが大好きだったので、一念発起、日本美術専門学校に入学し、若い学生と一緒に日本画を専攻、3年間学びました。今、作品を各展覧会に出品し皆さんに評価していただき、いつか個展を開くことを目標にしています。さらに趣味(海外旅行・料理教室・写真・ゴルフ・オートキャンプ・筋トレ等)を満喫し日々忙しく、充実して過ごしています。

最後に、皆さんの心の中にある玉手箱の紐を解き、今までの歩んだ道、歩んでい

る道、これから歩みたい道を、今回の学友会総会で共に語り合いたいです。

77回生の皆さん「全員集合です」

78回生 協力依頼

来年は78回生の皆様を招待致します。古希のお祝いについて学友会事務局と企画調整にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡をお願い致します。

連絡先 不動岡高校学友会
0480(6)0140 小野田

同窓会報告

昭和32年卒業(第69回) 喜寿を祝う会

集まり散じて59年。還暦に相当する長い年月。喜びも悲しみも順風も逆風もあつた幾星霜。男41女33の74人が平成27年11月28日午前11時30分から加須市民プラザに

て喜寿を祝った。「麒麟も老いては驚馬にも劣る」などほとんどでもないこと、全員が意気軒昂、光り輝いていた。振り返れば高校進学率が5割を切る昭和29年(1954年)、埼玉北東部を代表する伝統校不動岡高等学校入学は私たちの喜びであり誇りであった。高度成長前の物資不足の中で3年間、切磋琢磨し花ひらく若き日を過ごしたことが、この日このとき鮮やかに蘇った。

母校の沿革に触れた川島達男君(加須市)の司会に始まり、共同代表幹事の梅沢サチ子さん(加須市)と森田利夫(東京都文京区)が「無事は名馬」(The celebrates you.)の思ふと、今や熊谷高校を凌ぐ母校の入学難易度への感慨を述べて開会の挨拶、豊田洋子さん(神奈川県川崎市)の乾杯の音頭、遠くから馳せ参じた風間耕司君(富山県富山市)を皮切りに十数人が近況を報告、銘々がテーブルを回りながら歓談、大貫巖君(羽生市)の指導のもとに校歌斉唱、事務作業を取り仕切った廣田信夫君(越谷市)のまたの会合を提案する閉会の挨拶、代表幹事の「有難う、懐かしい、またお会いしましょう」の言葉で和気あいあいの楽しくも懐かしい3時間があっという間に過ぎた。あと3年、多くのクラスメイトが同意し心のふるさと母校不動岡高校で傘寿の祝いが開かれれば、これ以上の一生の思い出は少ないに違いない。

最後に、会場設営などに奔走した堀口清子さん(加須市)始め17人の幹事たちの陰ながらの努力があつたことを特に記し、心からお礼申し上げます。

350名の卒業生の中266名の消息が確認されている。県内居住者約7割、県内の約3割が加須市内。今回の出席者の3割が加須市在住、東武線沿線合計では6割強であった。遠隔地からの参加は、気力体力の面から年々難しくなるような気配である。(森田記)

83回卒業生 女子会

平成27年12月13日(日)、師走の小雨降る中、母校記念館食堂にて、第8回虹の会(83回女子クラス)が開催されました。

開催に先立ち、校舎を案内していただきました。吹き抜けの明るい校舎、暖かみのある木の廊下など、私たちが通っていた頃とは比べるべくもなく、時の流れを感じました。

83回卒業の女子クラスは、同窓会を「虹の会」と名付けていました。前回から今回の開催までずいぶん月日があいてしまい、申し訳なく思っていた幹事に、恩師堀越先生は「虹はたまに出るから美しいのでは」と挨拶して下さり、ありがたいことでした。

今風に言えば、アラ還の女子会は特別なことはなくとも、美味しい食事を頂きながら、おしゃべりの花を咲かせ、どのテーブルもあつという間に女子高生に戻ったかのような笑顔があふれていました。

開催にあたり、全面的に御協力頂いた小野田先生、食堂の皆様にご感謝申し上げます。 幹事



84回卒業生 女子会

平成28年5月7日(土)、五月晴れの中、第84回卒業生(女子クラス)同窓会を開催いたしました。私たちは、4年ごと(オリンピック開催年)に同窓会を開催しておりますが、今回は初めて母校での開催ということ

で、皆、わくわくしながら当日は参加しました。

開催に先立ち、校舎内を案内していただき、昔の面影はどこへやら：：学校のシンボルであったポプラ並木は伐採され、1本を記念に残すのみ。教室は冷暖房完備、オープンスペースや吹き抜け構造と、最新の校舎に生まれ変わっていました。私たちは女子2学級、82名と女子クラス最後の年でしたが、今は女子学生が半数以上を占めるとのこと、時代の移り変わりを実感いたしました。

当日は恩師であります鈴木富雄先生にご臨席いただき、女子クラス担任の大変だったことなど、懐かしく語っていただきました。私たちは旧姓で名札をつけましたので、あつという間に当時の呼び名に戻り、楽しい一時を過ごしました。



しい一時を過ごしました。

今回、残念ながら連絡が取れない方がいらつしましたので、是非不動岡高校校友会まで連絡をいただきたいと思えます。最後になりましたが、本同窓会を全面的にご支援いただきました学友会担当の小野田先生、おいしいお料理を提供いただきました食堂の皆様にご感謝申し上げます。

梅雨明け間近の七月十七日、午後一時より第96回生は卒業以来初めての学年全体同窓会を開催いたしました。「卒業以来初めて訪れた」「ポプラ並木はどこ」「旧校舎で残っているところは」などと、話しながら職員の小野田先生に県下でも有数の母校の施設を案内していただき、浦島太郎のような面持になる人が大勢いました。

いざや語らん諸共に、 第二回96回生同窓会開かれる

恩師の鈴木富雄先生、鈴木孝士先生、折原邦男先生を来賓としてお迎えし、本校

会場には「懐かしい思い出のコーナー」が設けられました。当時の文化祭のパンフレット、卒業アルバム、生徒会誌「湧雲」、野球部のパネル。また、スクリーンには懐かしい写真も映し出されました。我々が過ごした旧校舎は壁が灰色の教室で、部活に汗を流したグラウンドは常に埃っぽく、そしてポプラが悠然と立ち並んでいました。生意気盛りで、悩み深く、時に、競い、涙し、人生でも最も濃く熱い三年間がそこにはありました。



ができたと思えます。発起人代表者よりは五年後の第二回同窓会が約束され、再会を誓い合い、大きな拍手で閉会となりました。

最後に、この度の開催に当たりご尽力、ご指導いただいた小野田先生に発起人幹事一同、心より感謝申し上げます。(第96回生同窓会発起人・幹事)

同窓会等案内

◎開催予定

第86回生 平成28年10月22日(土) 17時より ホテルブリランテ武蔵野

第92回生 平成28年11月6日(日) 受付12時～ 開会13時 不動岡高校記念館

第95回生 平成28年11月12日(土) パレスホテル大宮

第81回生 平成28年11月23日(水) 不動岡高校記念館

第82回生 平成28年12月3日(土) 不動岡高校記念館

不動岡高校応援部OB会 創立50周年記念式典について 日時：平成28年11月26日(土) 第一部記念式典 13時30分から 4F会場 第二部祝賀会 14時30分から 5F会場 於：久喜市三高サロン

※それぞれの詳細については、各回生の幹事よりの連絡をお待ち下さい。

田幸夫、大澤弘幸、岡尚省、川崎一也《86
 回生》石井義久、五ヶ谷公二、駒井信亮、
 森田孝文、長谷川隆、松岡圭子、荒木文郎、
 奈良高男、船川喜正、小林くみ子、荒川明、
 大塚孝司、柴崎不二男、松永孝夫、森川典
 明、柏原幸子、中野晃、大豆生田宏子、大
 橋武司、奥澤博美、松岡延勝、小島一男、
 鈴木一善、浜崎秀男、吉野道博、小貝賢一、
 角田守、岡野行男、長野和雄、箕田真人
 《87回生》須永十三男、木村弘、田中利幸、
 山下弘之、岡安一雄、桜井真二、瀬山良一、
 古沢暁、山下典子、植松和子、川島芳之、
 仲山高司、齋藤洋子、岡安誠、神崎充、篠
 崎久雄、中田代助、堀口泰正、藤野一郎
 《88回生》谷津孝、小澤一夫、森田しのぶ、
 大久保淳子、折原佳子、秋山泰、大久保泰
 伸、白石秀明、松永知子、白石薫、野口時
 雨、増田敏子、中島一郎、森田雅之、宮本
 滝枝、森泉堪司、荒木宣子、島崎弘明、永
 井清史、矢島昭、鈴木紀之、野口馨、長谷
 部武《89回生》石井仁、神山貢、駒宮和
 明、岡戸明、吉田正、小林弥太郎、斉藤規
 生、並木崇、加藤修、酒井春雄、武正章、
 沢田裕二、後田清美、江原照雄、川端信夫、
 山之内正夫、吉永信明、小川博和、坂田亨
 中島一彦、細村泰夫、尾城一幸、増田雄一
 《90回生》大戸孝樹、堀越保夫、越谷裕美、
 岸沢秀紀、田口昇、金子孝雄、木村純、小
 谷野浩一、矢島泰、柴田信行、高谷昌宏、
 蛭間吉伸、田島洋文、玉田建夫、羽田邦弘、
 増田睦、川上良一、野中信英、新井健一、
 石井伯夫、小川毅彦、小野寺弘幸、島野亮
 一、武井幸正《91回生》内田和夫、奥貫芳
 夫、夏目真利、伍井政広、武内江里子、大
 沼千波、森田剛夫、大和田一善、坂入順子、
 野中恵美子、池上正智、今成貞昭、矢辺徹、
 石井孝高、寺田昌弘、関根竹彦《92回生》
 神澤秀明、佐藤浩司、渕野昌弘、矢澤雅彦、
 若林孝、秋山淳、江原千裕、遠藤陽一、木
 村力、萩原由浩、三浦甫、赤坂由美、八木
 雅子、隅田薫、伊藤裕子、落合章子、木村
 知代、梅沢茂幸、岡本保、鎌田時江、川島
 由宣代、金子幸江、竹田秀行、佐藤厚子、
 酒巻浩一、山田隆、宮田由里子、折原佐知
 子、五味登志子、仲山千津子、滝本俊明、
 阿部幸夫、酒巻健司、小野田誠、川辺隆浩、
 酒巻裕之、長峯規之、小熊孝、服部敬人

《93回生》古澤伸枝、諏訪文晴、横堀卓子、
 大橋一志、鎌田教男、斉藤貢一、松村直樹、
 三木亮太、村成幸、富田純、二階堂一哉、
 萩原章、中村孝広、中村峰治《94回生》新
 島浩、山田徹夫、笈川武、田尻伸行、五月
 女一義、新井康之、阿部育子、赤坂政幸、
 瀧本俊智、増田正夫、加藤健司、嶋田尚志、
 金子尚美、武藤功、関口照枝、野田容子、
 野口栄一、藤野邦夫、柿沼武夫、小嶋素志、
 佐藤安弘、金子功、高野俊英、西島克典、
 堀口真史、矢島浩二《95回生》川島規行、
 倉科淳、高田真代、熊谷壽、坂庭進、遠藤
 貴子、川島聡、青木浩、湯橋崇幸、川島健
 司、山中利明、高田京子、香西知子、飯野
 浩一、松本剛明、荒木克久《96回生》加藤
 憲忠、三塚和幸、柿崎暁、島海仁克、林部
 智子、梅澤義一、中村哲史、鈴木貴子、鈴木
 木洋子、岡戸光男、奥澤幸夫、高橋帳幸
 原島秀行、松野陽一郎、前沢明美、金子隆
 浩、並木智雄、石川友喜、金子政弘、松本
 毅《97回生》市川敏行、岡田則子、田口豊、
 橋本祐志、江川史子、金子林太郎、大塚俊
 外間康之、野本昌宏、吉羽誠治、藤井尚子、
 張真由美、白石二三恵、清水喜寿、増田勝
 弘《98回生》柿崎恭子、澤池多恵子、坂田
 千恵子、赤木忠之、川島好美、真坂八重子、
 小秋元美弥子、荻野敏成、忍田昇一、西原
 啓子、三ツ木信一、松本幸枝、秋谷栄一、
 鯨井昌志、加藤武彦、堤光伸、矢島徹、鷺
 田博明《99回生》諸井真英、加藤富之、西
 片奈々、佐藤潤、関根達子、小林秀幸、中
 村和美、市川智之、田中登、橋本智己、成
 海誠、渡辺俊一《100回生》飯塚寿志、小
 林耕司、千葉啓一、松永美保、片山文枝、
 山崎由紀子、岡本毅、野本昌寛、幸谷智
 田口勝《101回生》松村明彦、穴原江美、
 阿部浩明、鎌田勝、塩頭裕治、駒場慎一、
 高橋慎一朗、中村重継、荻野光生、早乙
 女弘和、渡邊信弘《102回生》黒須玉衣、
 山口恵子、川田秀明《103回生》岡安聡、
 森野明美、瀬山和代、半田貴史、内田裕
 子、村田悟、今津聖之助《104回生》森田
 健也、相沢千冬、寺崎努、吉久保道明、
 中野英紀、渡辺悟史《105回生》早川周一、
 細井康仁、小林稔、平野純子、日下部綾
 子、板橋孝幸《106回生》内藤貴志、川島
 利佐子、櫻田忍《107回生》新井康祐、宮

崎朋子、福田辰紀、木村なつみ《108回
 生》森田旭、正田大輔、成瀬喬、三木智
 一、齋藤麗、草間康幸、中西洋一、林麻
 衣子、新井邦行、塩崎秀弥、福島啓之
 《109回生》浅野猛、戸塚郁江、谷口博大、
 井上哲孝、細田史歩、本田雅子、小沼賢
 人、渡辺千恵子《110回生》木村正和、中
 里善匡、組野真琴、武田圭一《111回生》
 川島正貴、荻野有美、田口亜紀子《112回
 生》駒井康秀、和田裕《113回生》鈴木
 孝典、大谷祐一、大久保遼子、工藤暁美、
 新巻亮介、新悦一、秋山亨《114回生》角
 田さやか、比田井淳、堀口雅人、中根匡
 章《115回生》山口加恵子、鈴木耕平、野
 本洗一、新井啓之、大久保聡司、稲川慎
 一、松本守央《116回生》駒井信勝、村
 田順子、今成貴生、奥田早織、金子隼
 人、間中紗綾香《117回生》橋本圭一郎、
 安藤真由子、栗原美幸、船川健一《118回
 生》益子倫行、小澤晃司、條野宏司郎、
 成田絃章、藤井善彦、小川達也《119回
 生》新井亮裕、荒木茉莉奈、大木崇史、
 玉置将法、満木葉子《120回生》大西遼介、
 鬼頭友幸、田中渉太、本間千鶴、奥田真
 純《121回生》酒巻和也《122回生》杉田有
 梨、首藤勝人、稲葉賢史、小谷野貴徳、
 染谷晃司、鮎川環樹《123回生》丸山真央、
 秋元麻里、飯島春美、貝塚翔太、堀口哲
 生、隅田茜、長谷部桂一朗、矢野岳史、
 横田貴之、金子昌平《124回生》小林藍子、
 神崎麻衣、菊池陽媛、齋藤真由、上原あ
 ずさ、酒巻由梨奈、丸田瞳、山中知奈美
 《125回生》小林薫子、北林はる菜、鈴木
 満梨奈、須永洋籍、隅田萌、武正泰史、
 田中大暉、高島陽平、石沢高晴、川邊晃
 大、山崎絢弥、磯野智子《126回生》伊
 藤実穂、三浦陽子、杉村直見、笠原慶
 太、菱沼大智、鈴木孝典、野澤和生、今
 野直貴、鮎川生姿、石井貴大、高橋昌史、
 田邊俊明、濱野拓弥、福田陸斗、杉山美
 美花、吉野友子、佐藤廣幸、町田規憲
 《127回生》新井雄貴、金子晶代、坪井勇
 樹、高橋理沙、坂本渉、金子夕奈、橋本
 涼、湯井千晶、金井昂大、千頭雅史、江
 連佑実、石川博基、中村優花、堀口郁美、
 熊本淳平、小嶋亮太、堰免大洋《定3回
 生》須田鶏郎《定4回生》塩原勇、鹿野広

志《定6回生》鈴木貞市、並木啓政《定8
 回生》田口富治《定9回生》国分敏雄《定
 10回生》石川竜二《定12回生》古澤道康
 《定1回生》秋山美佐保、赤坂登志子《定
 2回生》網取八重子《定4回生》鈴木文子
 《定10回生》天下井良子《定12回生》大野
 昭子《騎分・12回生》野口千栄子《菖分・
 3回生》大熊實、鈴木昇、中山弘、中根敏
 雄《菖分・5回生》板谷明、知多瑞穂《菖
 分・7回生》倉持悦夫、戸井田繁《菖分・
 10回生》若山弘《菖分・8回生》石井ひで
 《羽分・1回生》阿部武夫《羽分・3回生》
 大谷久夫、長谷川源治《羽分・7回生》大
 月美代子《羽分・10回生》森田清子《羽
 分・12回生》伊沢一郎、大沢国男《羽分・
 15回生》柿沼準一《羽分・17回生》中村正
 次郎《羽分・18回生》高橋和子、星フヂ子、
 小野寺啓夫《羽分・19回生》塩谷利夫《北
 分・7回生》首藤幸子《北分・8回生》稲
 葉敏子《北分・3回生》加藤博三《北分・
 15回生》中田英文、山口定男《北分・19回
 生》島海一男《北分・1回生》飯塚利雄
 (敬称略) 以上1196名

皆様ご協力ありがとうございました。
 今年度も引き続きご協力をお願いします。

学友会年会費納入について
 学友会事業は、学友会員の皆様が納入する会費により賅
 われております。会員の皆様からお預かりした会費は、学友
 会だよりの印刷・発送、学友の集い開催費用等に充てるほ
 か、校内の環境整備の資金の一部として在校生のためにも役
 立っています。学友会ではこうした活動を充実させるため、
 平成25年度総会において会則の一部改正により『年会費
 1000円』を明確にするとともに、『10年分まで前納出
 来る』ことと致しましたので会員の皆様のご理解とご協力
 をお願いいたします。

註報
 (52回) 中田豊助(57回) 神沢喜助、小島二郎
 斉藤勉、遠井清夫、萩原昭、若林正、平出
 健三(58回) 石橋孝雄、打木勝三郎、遠藤
 一雄、小林博、中村周行(59回) 千歳栄
 一、駒宮肇、高野四郎(60回) 渡辺宮(61
 回) 柿沼喜郎(62回) 新井敏弘、伊藤秀
 太、杉浦誠二、小山光善、五月女博、中島
 安夫、飯塚浩、島田明、野口喜重、長森喜
 三郎、中田基一(63回) 原田直利、鈴木方
 也、中島武夫、藤沢利克、森田弘正、石井
 正美(64回) 小野田肇、河野崇、斉藤利雄、
 篠塚信、関根章二、関根武、野本正男(65回)
 石川行信、石川秀夫、渋谷四郎、荻野春光
 遠藤基彦、滝沢滋(66回) 大島敏、木村一彦、
 熊倉茂、齊藤清、杉田敬治、神山敬三、長
 谷川友茂、森田弘行、松尾チカ、籠宮静子
 (67回) 島崎庄司、野口久幸、福田昇、井ヶ
 田晴子(68回) 梅沢時雄、榎本喬二、福地
 珠恵(69回) 金子節子(70回) 伊藤徳夫、
 柴崎英男、橋本重光、横田十郎、宮水節子、
 黒木マキ(71回) 横井恭子、田口清吉、吉
 沢金三、細沼重男(72回) 鈴木圭司、網川
 浩、中村俊継、樋口忠克、鈴木節子、安西
 智子、梓澤菊二(74回) 吉野三枝子、町田勝
 金子寿男、石井紘(75回) 石川良子(76回)
 富田雪子、岡健司、坂田民子、大塚俊英
 (77回) 前島富江、関根勝(78回) 小川貴子、
 福田和義(79回) 加藤清、坪井清次(80回)
 細村美知子、小久保和夫、横井正典(81回)
 奥澤明男、須賀精一、中原真(82回) 松本
 達夫、栗原英寿、遠藤正治(84回) 小宮利
 恵子、神田英雄(85回) 羽山聡明(87回)
 川田昭(88回) 小林俊夫、南雲正俊、栗原
 幸子(91回) 山田朋之、今井仁(99回) 田
 中貴、浜聡(100回) 岡村満(101回) 鎌田勝
 (定4回) 篠崎秀治(定7回) 新井敏詩(定
 8回) 濱島圭司(定9回) 柴谷清二(定10
 回) 鈴木浩一(定12回) 黒須久雄(定1回)
 小沢和子、瀬山愛子(定2回) 荒川栄子(定
 6回) 小谷美佐子(定7回) 新井洋子、戸
 叶美代子、柴田昌子(定9回) 濱島弘子(定
 12回) 内田照子(定16回) 鈴木栄子(騎分・
 3回) 川野忠義(騎分・10回) 長浜正次(菖分・
 2回) 森田良一(菖分・3回) 石井安次(菖分・
 9回) 川野一郎(菖分・10回) 青木策治(菖分・
 11回) 吉川静夫(菖分・12回) 齊藤和平(羽分・
 1回) 松本一夫(羽分・2回) 石井啓三(羽
 分・14回) 鎌田繁(羽分・15回) 高島敏夫
 (北分・1回) 松橋忠雄、針谷行雄(北分・
 20回) 児矢野正夫

学友会事務局にご連絡を頂きました、お
 亡くなりになられた方です。
 皆様のご冥福をお祈りいたします。

対面式

新入生367人を歓迎「新たな1ページを創っていききたい」



↑二・三年生の大きな拍手に迎えられ、アーチをくぐる一年生

続いて全学年で校歌・応援歌練習が浅井一郎先生の熱い指導で進められた。恒例の肩組みの校歌斉唱は「雰囲気が良い」と新入生に印象付いたようだ。野球応援も毎年ながら生徒全体の視線を惹きつける。「先輩たちの全力の歓迎に感動した」という新入生の声

吹奏楽部の演奏と上級生の拍手に包まれ、新入生が入場した。「人を尊敬できる人間に」と話し、会の口火を切ったのは武正章校長先生。新入生代表の軽部勇樹くん(一九)は「三年間を有意義に過ごしたいです。伝統を受け継ぎ発展させ、新たな1ページを創っていききたいです」と意気込みを語った。

六日(水)午後、桜が満開の青空の下で、第二三回不動岡高校入学式が盛大に行われた。部活動勧誘の花道を通り、体育館に向かう一年生に感想を聞くと、「びっくりしました。たくさん先輩方が勧誘してくださって部活に興味を持ちました」、「先輩方がたくさんいて、部活が楽しそうだと思います」といった声が上がった。

入学式 第二三回入学式 不動岡で始まる新しい春

↓笑顔で部活動紹介をする女子バレー部 ↓代表の軽部くん ↓野球応援で会場を沸かせた



部活動公演Fホール・中庭にて

Table with 6 columns: Day, Location, Activity, Time, Location, Activity. Rows include 9日(土)吹奏楽部, 11日(月)応援部, 14日(木)音楽部, 15日(金)チアESS, 18日(月)軽音, 19日(火)軽音.

八日(木)から放課後にFホールと中庭で、希望団体による部活動公演が行われている。各部の迫力ある演技を間近で見ることができる。ぜひ部活動選びの参考にしてみてはいかがだろうか。

Table with 5 columns: Department, Number of Members, Department, Number of Members, Department, Number of Members. Lists various clubs like 放送, 新聞, 音楽, etc.

新入生部活動加入状況

入学式後にその感想を聞くと「緊張したけれど、上がることなくできたのでよかったです」と安堵した様子で話した。秋葉さんは文化祭の様子を見て不動岡高校を目指そうと決めたそうだ。自分自身はどんな文化祭を作り上げたいかという質問には「来校した中学生が不動岡に入りたいたいと思ってくれられるような文化祭にしたいです」と笑顔で話した。



発行所 埼玉県加須市不動岡1-7-45 埼玉県立不動岡高等学校 編集・発行・印刷 不動岡高校新聞部 部長 長谷美 徳歩

新聞部が発行している校内新聞の一部です。今年の生徒の活躍を新聞部の視線でご覧下さい。



↑先生に呼名されると、大きな声で返事をして立ち上がった

入学式では、緊張しながらも先生による呼名に大きな声で返事をする新入生の姿が見られた。校長先生は、学校目標「質実剛健」を掲げ、「世間のリーダーには欠かせない質で

体育祭

全員の協力が生んだ感動「青瞬」の1ページとなった体育祭

五月三十一日(火)、第六四回学校祭が開幕した。翌日には市中パレード、六月二日(木)には体育祭が行われた。強風の中開催された今年の体育祭は優勝がC団、A団が団結賞となった。

今年の結果はC団が優勝、A団が団結賞となった。C団団長の金井混一くん(三十三)は「文化祭準備が始まったときからみんなが団結していたので、勝つ自信がありました」と喜びを語った。またA団団長の榎浦健人くん(三十二)は「全員の協力のおかげでとれた団結賞です」と話した。

↓昼食を楽しむ一年生



四月二日(火)から三日(水)にかけて、新潟県のN ASPAニューオータニで一年生のオリエンテーション合宿が行われた。一日目は予習の仕方について学び、

オリエンテーション合宿 新しい仲間との絆を深める



↑「千本桜」などを披露

五月三十一日(火)に大体育館で文化発表会が行われた。今年には演劇部、音楽部、吹奏楽部の四つの部が発表を行った。演劇部は漫才のような劇で会場の笑いをとった。また、吹奏楽部は親しみのある曲を演奏したり、会場に広がってパフォーマンスをしたりと、会場を沸かした。

文化発表会 生徒の心をわし掴む演技

↓個性的なダンスで団結賞を獲得したA団



↑仲間のもとへキック ↑白熱した女子騎馬戦



↑爽やかな水色のC団が見事優勝を勝ち取った

「この九人が団長で本当によかった。みんな協力してくれて嬉しかったです。ありがとうございます」と話すと、応援部や各団団長・副団長が「おつかれ」とコーンを送った。会場は感動に包まれた。



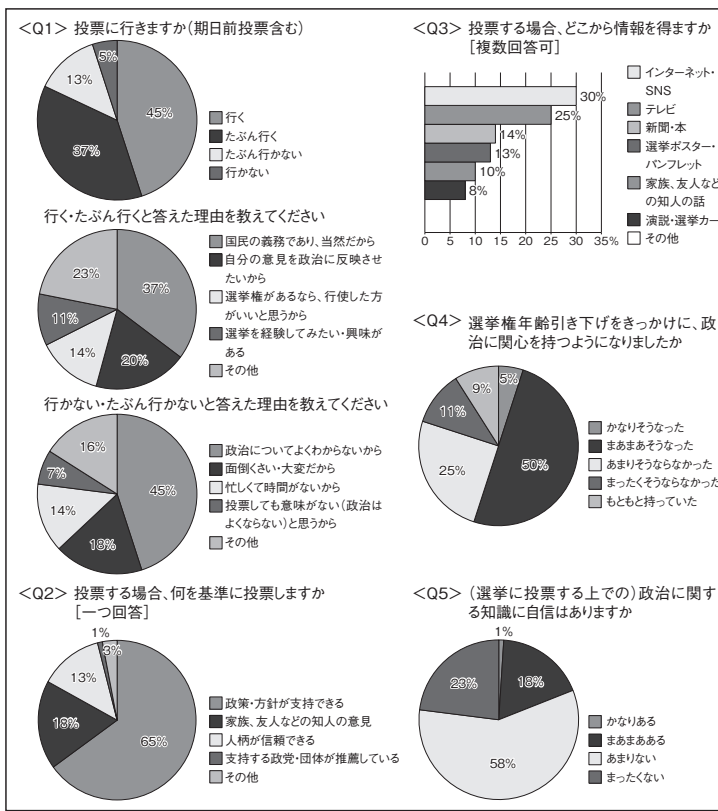
18歳選挙権始まる 高校生の政治参加 どう向き合う？

不動岡新聞(年3回発行)より抜粋

昨年6月に、選挙権年齢を18歳以上に引き上げる改正公職選挙法が成立した。今年6月19日にはこの法律が施行され、7月10日投開票の参議院選挙で初めて年齢満18年以上満20年未満の者が新たな有権者として加わった。新聞部は、事前に3学年9クラスを対象に校内アンケートを実施し、選挙に対する意識調査を行った(回収率85%)。また、本校教員である公民科の大澤眞悟先生に、18歳選挙権について話を聞いた。(長谷)

校内アンケート 選挙に「行く」、「たぶん行く」 8割超える

アンケートを回答した3年生の約3割が7月11日までに誕生日を迎え、10日投開票の参議院選挙で投票ができるようになった。選挙権を得た生徒も同じ選挙権を得る生徒は、選挙に対してどのような意識を持っているのだろうか。Q1では、8割を超えて「行く」、「たぶん行く」と答えた。はっきりと「行く」と回答した人の割合も高く、選挙に対して積極的な姿勢が見られた。理由として「国民の義務だから」という回答が最も多かった。その他に「家族の方針」、「初めてだから」、「投票に行く習慣をつけるため」、「政治に参加しないから」など様々な理由が挙げられた。その一方で、「たぶん行かない」、「行かない」と答えた人は約2割を占め、理由は「政治についてよくわからないから」、「友人数の知人の意見が18%であった。自分の意見が持てない」という



今年度のSGH活動コンソ

本校のSGHは今年度、指定2年目を迎えます。年次進行で実施する総合的な学習の時間(Fプラン)については、2年次生(普通科文系及び外国語科)を対象に「SG課題研究I」が新たな取組としてスタートします。これは、加須市を中心とした地域の課題について探究し、その解決のための方策を提案することをゴールとした学習です。実施にあたっては、加須市役所を始めとした関係各所の皆様に御協力をいただくことができ、まさに地域と一体となり取り組んでおります。また、1年次生を対象とした、グローバル課題を

テマとしたディベート学習も、継続して実施する予定となっております。外国語科専門科目「異文化理解」では、昨年度以上に広がりのある探究学習が行われております。関係各所へのフィールドワークはもとより、生徒が自ら小学校に赴き、多文化共生に係る授業を行うなど、多様な活動に取り組んでおります。机上の学習にとどまらず、実際に現場に出かけ、校外の人から学ぶことは、生徒にとって大きな刺激となっているところであります。

また海外派遣研修については、昨年度同様にマレーシアへの派遣を2回(夏冬)実施するのと併せて、SSH海外派遣事業を継承する形となるアメリカ派遣研修を10月に実施する予定となっております。国内においても、1年次生希望者を対象としたリーダー育成合宿(JICA研修)を夏期休業中に実施することとし、現在事前学習が進められているところであります。

今年度もSGH推進委員会を中心として、生徒を「明日の世界を創造する品格あるリーダー」へと育成すべく、様々な活動に取り組んでまいります。学友会の皆様におかれましても、御助言・御協力を賜りますようお願いいたします。

SGH推進委員会 松本 直樹

- ### 不動岡健児の活躍 部活動報告
- 陸上競技部 全国高校選抜陸上競技大会女子棒高跳出場 角田ルアニイ4位 野木怜菜 石島結衣 飯田真優子 ●野球部 全国高校野球選手権埼玉大会 1回戦 対 坂戸西 2-4敗戦 東部地区高等学校野球新人大会 1回戦 対春日部工業 2-8敗戦 ●サッカー部 全国高校サッカー選手権大会埼玉県1次予選 1回戦 対所沢商業 1-0 2回戦 対杉戸高校 2-1 3敗戦 ●ラグビー部 国体県予選 ベスト16 全国7人制大会県予選 ベスト16 ●剣道部 関東大会県予選女子団体5位 1日県予選女子団体ベスト16 個人 ベスト32 野原歩 東部支部大会 男子団体ベスト8 女子団体2位 個人 ベスト32 武井祐樹 杉下直生 優勝 西川菜佑 ベスト8 岩部公美 ベスト16 小石玖瑠実 立教杯剣道大会 女子団体3位 ●男子バスケット部 夏季東部支部大会 2回戦 対八潮 89-63 3回戦 対花咲徳栄 55-95 ●女子バレー部 新人大会県大会出場 関東支部春季大会5位 ●卓球部 東部地区大会 女子シングル
 - ス 川端祥歩 15位 小菅実久 中川葉 松永美季 ベスト32 男子シングルス 藤沼蒼湖 ベスト32 男女団体戦ベスト8 ●男子ソフトテニス部 東部支部大会(個人)ベスト4 今井 滝澤 東部地区予選会 個人戦 ベスト24 大川・岡崎ペア 団体戦 ベスト16 インターハイ埼玉県予選会 団体戦 ベスト32 夏季東部リーグ1部 第2位 ●男子テニス部 新人大会東部地区予選 ダブルス 奥野高橋ペア 4位(本選出場) ●女子テニス部 関東大会東部地区予選個人 シングルス 17位 石山舞 ダブルス12位 石山 椎名ペア 関東高校テニス埼玉県大会出場 シングルス 石山舞 ダブルス 石山 椎名ペア ●新体操部 東部支部新体操大会 団体 3位 ●水泳部 女子100m平泳ぎ 高島春佳 関東大会7位 インターハイ出場予選9位 B決勝進出(全体12位) ●応援部 チアダンスチームDROPS USA Regionals 2016埼玉大会 ベストインプレッション賞 チアダンスフェスティバル in イクスピアリ
 - 出演 加須市まちなか賑わいフェス テイバル出演 ●バドミントン部 埼玉県高等学校バドミントン大会 東部地区予選会 女子 シングルス 高橋彩夏 3位 竹内愛理 4位 濱田侑佳 ベスト32 ダブルス 鈴木 未久 濱田侑佳ペア 18位 男子 シングルス 青山琉哉 ベスト16 ●吹奏楽部 埼玉県吹奏楽コンクールA部門地区大会(金賞2位) 埼玉県吹奏楽コンクールA部門県大会 銀賞(12位) ●音楽部 埼玉県合唱コンクール 銀賞 ●SSH 生徒研究発表会参加(神戸)SSC物理 環境科学国際センターサイエンス教室、越谷科学技術体験センターサイエンス教室 ●化学部 関東支部主催化学クラブ研究発表会 ポスター賞 染野駿輔 ●新聞部 第20回全国高校新聞年間紙面審査 優良賞 ●放送部 第52回埼玉県高校放送コンテスト出場 第63回NHK杯全国放送コンテスト埼玉県大会 小林拓矢 大坂早葵 ●書道部 埼玉県硬筆展覧会 さいたま市長賞 工藤瑠偉 推薦賞 木宮花恋 田邊祐太 特選賞 石川紗理 蛭田啓吾 吉田芽生 優秀賞 高瀬莉子

二〇一六年度の入試結果

今春の入試状況

進路指導主事 細村 拓也(95回生)

2016年度入試の特徴は、①国公立大志願者数が前年より約4千人減って5年連続の減少となった。②文理別では文系の人気が増加したのに対し、理系は前年度並か減少の系統ばかりで「文低理高」が沈静化した。③系統別にみると、文系では経済経営商、法が増加し、国際関係も依然として高い人気を継続している。④理系は前年度並みか減少の系統ばかりで、メデイカル系の減少が目立ち、医歯薬はいずれも減少が継続した。⑤私立大は、志願者数が前年比5万6千人増加し、文系の人気が回復が顕著で、系統では国際関係の大幅増加が目立った。理系では理工系が微減しているが、専攻別では情報工が大幅に増加し、建築土木・環境工は微増で人気が続いている。本校の入試結果は、国公立大学に87名が合格し、現役合格者76名は、学年の生徒数が450人↓400人↓360人と変化したこの20年間で最多となり、大きな成果であった。内訳は、東京工業大学に2名、旧帝大の東北大学に2名、名古屋大学に1名合格した。首都圏地元大学では、埼玉大学19名、筑波大学6名、千葉大学5名、横浜国立大学2名、東京外国語大学4名、東京学芸大学6名、東京農工大学1名、埼玉県立大学9名、首都大東京3名、横浜市立大2名など多くの合格者を出した。理工医療系の学部合格者数が50名を超え、理系の健闘が目立った。

私立大学では、早稲田大学17名、慶應大学3名(薬学部1名を含む)、東京理科大学32名、明治大学32名、立教大学35名、青山学院大学18名、中央大学24名、法政大学57名、学習院大学28名など延べ914名の合格者を出した。

2016年の合格状況

国立大学 現役 浪人 進学 弘前大 1 1 1 東北大 1 1 2 茨城大 1 筑波大 6 6 宇都宮大 4 2 3 群馬大 2 1 3 埼玉大 19 17 千葉大 4 1 5 京外大 3 1 4 京学芸大 6 6 京工大 1 1 2 京農工大 1 1 1 横国立大 1 1 2 信州大 2 2 名古屋大 1 1 三重大 1 1 1 合計 53 9 56

公立大学 現役 浪人 進学 国際教養大 1 会津大 1 高崎経大 3 3 埼玉県立大 8 1 9 首都大東京 3 3 神奈川保福大 1 1 横浜市立大 2 2 長岡造形大 1 1 石川県立大 1 1 都留文科大 2 名桜大 1 1 合計 23 2 20

私立大学 現役 浪人 進学 国際医療福祉大 1 1 自治医大 2 2 獨協医大 2 上武大 1 高崎健康福祉大 2 群馬パース大 1 跡見学園女子大 2 埼玉医大 5 2 埼玉工大 3 1 城西大 4 1 聖学院大 2 東京国際大 2 獨協大 24 7 6 日本工大 5 2 文教大 22 1 8 文京学院大 2 1 1 目白大 6 1 2 十文字学園女子大 3 1 日本薬大 1 東都医療大 2 日本保健医療大 1 神田外語大 3 聖徳大 2 千葉工大 2 1 帝京平成大 2 東京情報大 1 青山学院大 14 4 4 大妻女子大 8 3 学習院大 17 11 8 北里大 7 4 共立女子大 3

杏林大 9 1 1 慶応大 3 3 工学院大 3 1 1 工学院大 12 1 1 国士舘大 1 1 駒沢大 17 3 3 実践女子大 6 1 2 芝浦工大 20 15 8 順天堂大 1 上智大 2 1 2 昭和女子大 20 3 3 女子栄養大 7 4 5 白百合女子大 2 成蹊大 7 2 1 成城大 11 3 聖心女子大 1 清泉女子大 3 専修大 10 1 2 大正大 2 大東文化大 9 3 拓殖大 1 1 玉川大 5 1 2 中央大 15 9 4 津田塾大 8 1 3 帝京大 6 2 2 東海大 3 1 1 東京音大 1 1 東京家政大 32 2 13 東京家政学院 1 東京工科大 9 1 2 東京慈恵会医大 1 東京女子大 4 2

東京造形大 1 東京電機大 24 8 11 東京農大 16 1 4 東京薬大 1 東京理大 20 11 6 東邦大 2 1 1 東洋大 67 11 16 二松学舎大 1 1 1 日本大 47 12 17 日本獣医生命大 1 1 1 日本女子大 15 1 7 日本女子体育大 1 1 日赤看護大 1 1 日本体育大 1 1 法政大 43 12 12 武蔵大 9 5 東京都市大 1 1 1 武蔵野大 3 1 1 武蔵野美大 2 1 明治大 21 11 9 明治学院大 5 2 3 明治薬大 5 2 5 明星大 3 1 立教大 29 6 16 立正大 4 2 2 早稲田大 12 5 12 学習院女子大 7 4 東京医療保健大 1 麻布大 3 神奈川大 1 産業能率大 1 新潟薬大 1

山梨学院大 1 金城学院大 1 京都女子大 1 立命館大 2 大阪工大 1 関西学院大 2 2 3 合計 736 178 250

大学校 現役 浪人 進学 防衛大学校 1 合計 1

私立短大 現役 浪人 進学 女子栄養短大 1 1 新渡戸文化短大 1 1 合計 2 2

専門学校 現役 浪人 進学 日本工学院専 1 1 1 その他の専門学 2 2 4 合計 3 2 5

看護学校 現役 浪人 進学 都立広尾看護 1 1 さいたま市高看 1 1 合計 1 1 1

留学・就職 就職 3 留学 3

転入者

氏名 武正 章 校長(国語) 99 鈴木 久代 教頭(国語) 99 神田 剛広 教頭(英語) 90 鈴木 明 美術 90 小林 百合 地歴 90 竹崎 敬介 保健体育 90 遠藤 久美子 英語 90 松村 友 英語 90 青木 隆一郎 公民 90 酒巻 裕亮 数学 90 東海林 篤 理科 90 金森 大和 理科 90 落合 定 国語 90 茂木 親司 理科 90 柿沼 勇 数学 85 三田 治市 保健体育 85 小堀 泰代 保健体育 86 金井 文雄 英語 86 飯島 恵子 国語 86 伊草 巨 数学 86 鍋谷 渚 理科 86 佐藤 利一 事務室長 86 南 幸代 事務主任 86 中島 達朗 理科実習助手 86

転出・退職者

氏名 阿久津利明 県立学校人事課 120 鈴木 良典 上尾鷹の台高校再任用 86 利根川典子 行田特別支援学校校長 86 森川 典明 鷺宮高校(再任用) 86 関根 典夫 鴻巣女子高校(再任用) 86 根岸 亮司 上尾高校(再任用) 86 小堀 泰代 不動岡高校(再任用) 86 斎藤 勤 春日部東高校(再任用) 86 中島 伸幸 羽生第一高校(再任用) 86 半田 益主 羽生実業高校(再任用) 86 岡田 知二 熊谷高校(再任用) 86 小林 寿 栗橋北彩高校 86 森 響一 神奈川県立光陵高校 86 北田 実 伊奈学園総合高校非常勤 86 三木 純 川越高校 86 渡辺 千桂 宮代特別支援学校新採用 86 島田 孟 退職 86 渋谷 浩美 久喜高校 86 山本 好恵 羽生実業高校 86

編集後記

学友会の活性化について

記念誌にも載せていただきましたが、平成25年1月から現在まで、学友会の活性化ということで、当初4名、現在10名が関わり活動を続けて参りました。その間、諸先輩に参加していただき意見交換させていただきました。意見が合わず先に進まなかったり、思うように伝わらないことも多々ありましたが、一同大変感謝しております。そして、「130年の伝統を持つ母校を盛り上げたい」という思いは皆同じだということを確認できたことは、収穫であったと思っております。また、今回の130周年記念事業において、学友の皆様より多額の寄付を頂けたことでも、母校愛を確認できたと感じています。小さなことですが、ホームページを再構築したり、学友会だよりの紙面を充実させたり、毎年古希の年代を招待する企画を立ち上げたりしました。そして事務局員を募集したところ、3名(栗原博子、84回関根雅彦、86回大塚孝司 敬称略)が手を挙げて下さり、学友会の活動に常時携われるスタッフが決まりました。これからは、活性化というよりも、学友会の実質的な活動になっていきます。会長、副会長、事務局員3名、校内で学友会に関わって下さる幹事の先生方と協力しながら進めていくこととなります。ただし、学友会とは学友一人一人が主役の会だと思えます。ご意見ご要望をお寄せいただき、学友会総会に参加いただきたくお願い申し上げます。(事務局)

人事異動

学友会ホームページ http://gakuyu.fudooka-h.ed.jp

メール配信サービス 学友会では学友の皆様と親交を深めるために、メールによる情報配信サービスを始めました。右記QRコードで是非ご登録下さい。

